



随分秋らしくなってきました。三宝山の上に何か造られるのでしょうか？



ひ：人や生き物、持ち物を大切にしが：頑張り（目標に向かって）し：幸せになる野市東小

香南市立野市東小学校
所在地 香南市野市町中ノ村770
電話 0887-54-2622

15日(金)は参観日です！

高知県の感染症対応の目安が「警戒」となり2週間を過ぎようとしています。2学期始めは、「非常事態」中でしたので、夏休み作品展やプール納め（中止）は、保護者の参観を控えていただくことになりました。我慢の9月でしたので、10月15日の参観日は、子どもだけでなく保護者の方々も楽しみにしていることだと思います。人数制限等がありますが、子どもたちが生き生きと学ぶ姿を是非見に来ていただきたいと思います。

なお、参観日当日近くになり、感染症対応の目安が「特別警戒」になりましても、香南市近辺の状況を考えて実施か中止の判断をしたいと思います。

子どもがやる気になる言葉かけを！

2学期が始まり1ヶ月が経過しました。夏の疲れか？コロナ疲れか？少し登校しづらくなっていたり、親や先生の言うことを聞かなくなったり、落ち着きがなくなったりしている子どもが少なからずいるようです。子どものやる気を育てるのも、削ぎ取るのも、親や教師からの言葉かけ次第です。

ほとんどの子どもは何をやらなければいけないかは分かっています。ただ、それに立ち向かうエネルギー（やる気）が不足しているように思います。この問題を解決するには、家の外（学校など）で戦える（活動する・勉強するなどの意）だけのエネルギーを、家庭でいかに貯められるかが大切になってきます。しかし、家庭や教室内の問題や、親や教師からのマイナス発言などが蔓延している状況では、子どもはやる気をチャージできません。

まずは、親も教師も、子どもの話を聞くことを大切にしてほしいです。人には「承認欲求」があり、それが満たされることが重要だと言われています。

何かの「結果」を褒めるのではなく、子どもの「能力」を褒めることが大切です。例えば、水泳記録会で優勝した場合に、「優勝してすごいね」ではなく、「毎日、練習をよく頑張ったね」「腕のかきが力強くなったね」など、これまでの努力や能力を褒められることで、子どもは自信をつけ、自己肯定感が高められていくと思います。

一方、子どものやる気を削ぐ言葉として、「勉強しなさい」などの強要、「お姉ちゃんはできたのに、アンタは…」という誰かとの比較、「アンタなんかにはできやせん」といった否定、この3大要素が含まれる言葉の使用頻度が上がれば上がるほど、子どもはやる気をなくし、エネルギーが蓄えられないと思います。

おわりに、繰り返してほしい「短い言葉」としては、「大好きだよ」「ありがとう」「やったね」「すごいね」「頑張ったね（頑張ってるな）」「へえ～そう？もっと聴かせて」「ドンマイ（次、次）」「〇〇ならできる」「結果を気にせず、楽しめ」「いい経験になったね」等々があります。反抗期にある子どもは、こうした言葉に対して聞く耳をもたないような振りをするかもしれませんが、実はしっかり聞いていて、それを記憶しているものです。

「まっこと、てこにあわん。（本当に、手に負えない、始末に困る）」とよく言われて育ったわたしが言うのも何ですが、お子さんのやる気の出る言葉かけをよろしくお願いします。

チャイム席コンテスト実施します

来週月曜日から金曜日まで、野市中学校区の小中学校がチャイム席に取り組みます。子どもたちは、チャイムが鳴る前に席に着いたり、掃除に取りかかったりできるよう頑張ります。

----- 切り取り -----
 ※ご意見・ご感想をお願いします。 ()年()組 保護者氏名()